

# 難民認定制度の見直しの方向性に関する検討結果(報告) 概要

## 難民認定制度を取り巻く国際動向

- 国際情勢の変化(欧州, 中近東, アフリカにおける地域紛争)
- 国際社会における難民保護の取組
- 経済的理由により国境を越えて移動する人々の存在
- 国際テロが依然として深刻な脅威(テロリスト入国防止が各国の使命)

## 難民認定制度を取り巻く国内動向

- 申請数の急増(H17年改正時384人→H26.11末現在約4500人。約9割がアジア地域出身)
- 申立内容の多様化(個人, 集団等の非国家主体からの迫害, ジェンダーに起因する迫害)
- 濫用的申請の存在(就労・定住又は送還回避目的の申請, 繰返しの難民申請等)
- 難民認定数についての様々な指摘(H25年認定数6人+その他の庇護数151人)

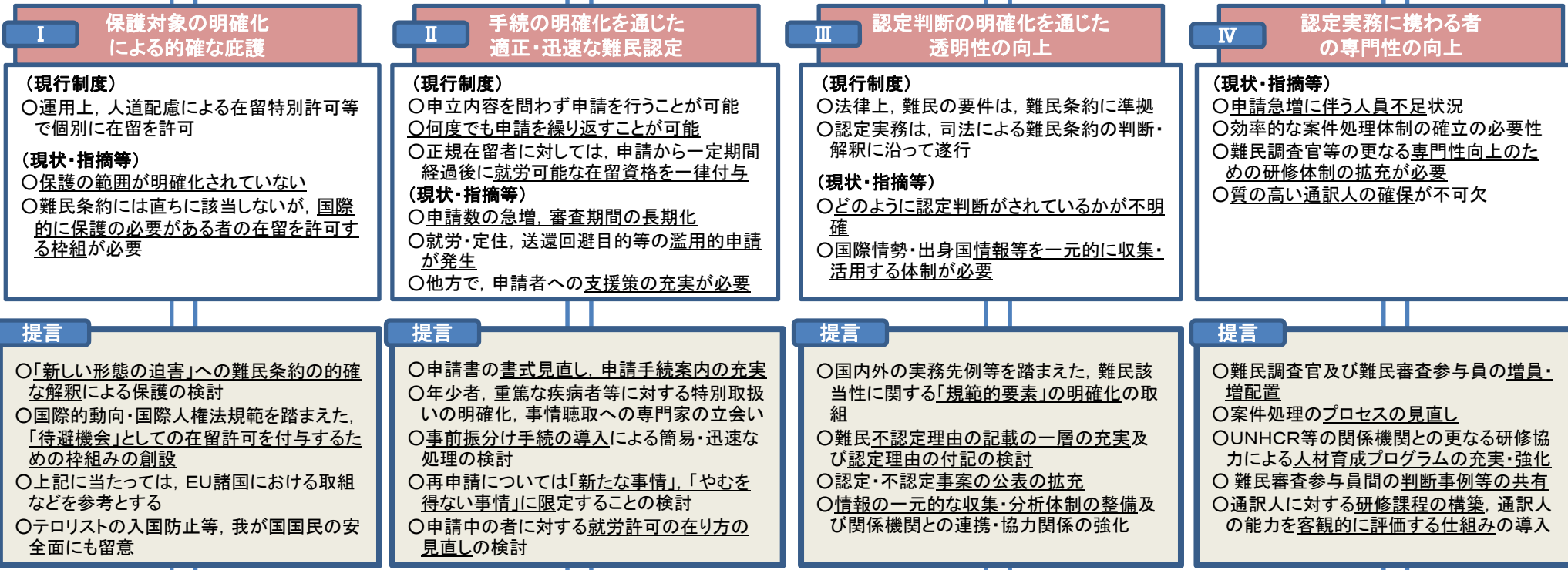
## 専門部会の検討事項(第6次出入国管理政策懇談会からの諮問事項)

1. 難民認定申請が急増する中における適正かつ迅速な案件処理のための方策 2. 人道上の観点から在留を認める処分の在り方 3. 難民認定申請者に対する支援策の在り方

## 難民認定に関する専門部会における見直しの方向性

### 庇護すべき対象と、それに該当しない対象を的確に区別

### 制度全体の質の更なる向上を目指す



## 真の難民の迅速かつ確実な庇護の推進